

口の中の詰め物が原因？

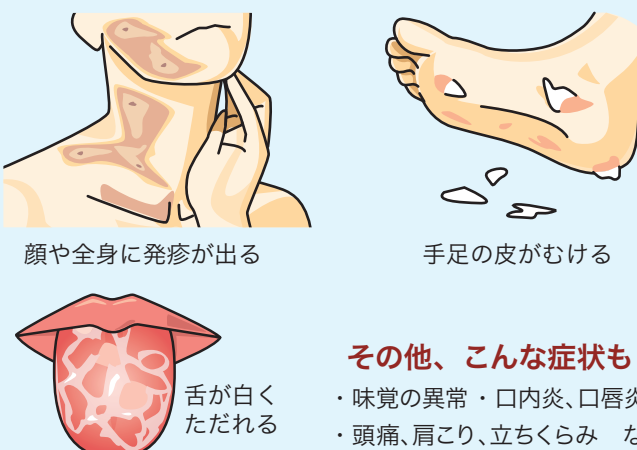
ネックレスなどの金属が肌に触れることで、皮膚に湿疹やかぶれなどの症状を引き起こす金属アレルギー。実は、口の中の金属の詰め物が原因で起こることがあります。金属アレルギーには個人差があり、自覚症状が全く出ない人もいれば、皮膚に発疹ができる、手や足の皮がむける、などの症状が出る人もいます。

歯の治療では、金属の詰め物をして何年も経ってから突然発症することもあり、すぐに症状が現れるとは限らないので、口の中の金属が原因だとは思えない人が多いようです。

金属アレルギーのメカニズム

歯の治療で使用する詰め物や被せ物の金属材料には、水銀アマルガムや金銀パラジウムなど、アレルギーを起こしやすい金属が使われています。この金属が唾液で溶け出し金属イオンとなり、体内でタンパク質と結合し、新しいタンパク質を作ります。これが異物とみなされると、免疫が過剰反応し、アレルギー症状を引き起こします。

アレルギー症状



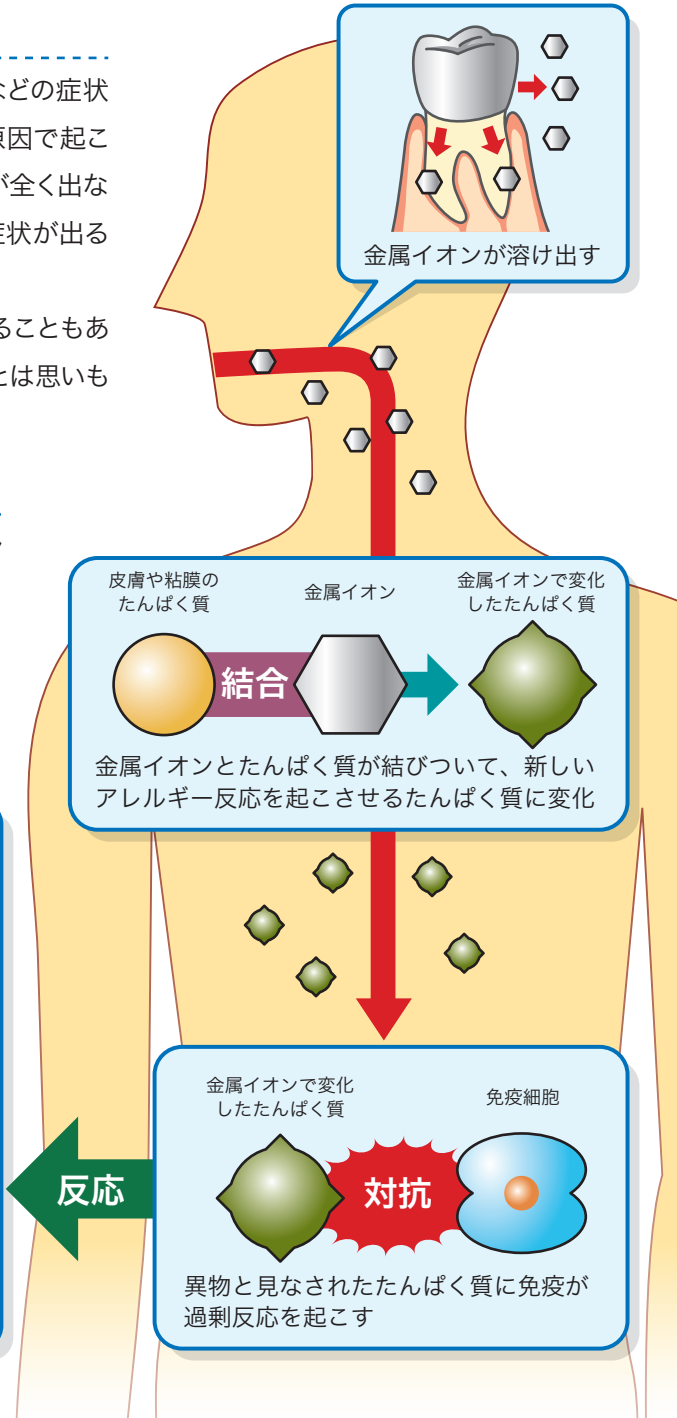
顔や全身に発疹が出る

手足の皮がむける

舌が白くただれる

その他、こんな症状も！

- ・味覚の異常・口内炎、口唇炎
- ・頭痛、肩こり、立ちくらみ など



金属アレルギーへの対策は？

- ・まずは、かかりつけの皮膚科での正確な診断、原因の検索が必要です。
- ・掌蹠膿疱症などの疾患については、金属アレルギーよりも歯の根っこの病巣・歯周疾患・扁桃腺等が原因となる事も多いので、かかりつけの歯科医師・皮膚科医師とご相談下さい。
- ・アレルギーの原因が歯科用金属であると判断された場合、かかりつけの皮膚科にてパッチテストを行い、7日後の判定が必要不可欠となります。
- ・皮膚科医師の診断のもと、歯科で原因となる金属を取り除き、アレルギーを起こしにくい材質のものに取り替える治療を行います。(パッチテストの結果によっては、保険で治療が可能な場合もあります)